



社団法人
日本サウナ協会

SAUNA

10月/255号

発行所 社団法人日本サウナ協会
〒東京 03(5275)1541(直)
FAX 03(5275)1543
〒102 東京都千代田区六番町1
(番町一番館ビル2F)

平成9年度第2回理事会

福祉事業への参画、税制改定の要望！

韓国温浴施設視察など検討！

①福祉事業への参画の件
 老人デイサービス事業について、厚生省老人保健福祉局長通知(在宅老人福祉)

②税制改定要望の件
 減価償却資産の「法定耐用年数」に、同じ資産・用途でありながら差異がみられることが資料によって説明され、サウナ事業に供さ

③厚生年金基金の件
 厚生年金基金の状況が説明され、厚生省も平成十一年を目処に、厚生年金基金制度の改正を目指していることもあり、この改正を見極めながら、それまで各支

④韓国温浴施設視察の件
 韓国沐浴業中央会との交流や温浴施設の視察について説明され、会員、賛助会員を対象に視察団を募り、今年十二月上旬に実施することです承された。

⑤協会グループ保険(団体定期保険、仮称)設立の件

⑥協会ホームページ(インターネット)の件

SAUNA BATH TICKET

全国共通サウナ入泉券



有効期限 平成 年 月 日迄

社団法人 日本サウナ協会
JAPAN SAUNA ASSOCIATION

「全国共通サウナ券」の見本が出来上がった。福利厚生施設の一環として利用を希望する企業等に1枚(1人)1700円で販売されるが実施は来年2月1日からを予定されている。券のサイズは7×15.7cm。裏面に「本券は協賛店名簿に記載されているお店でご利用になれます」などの、ご利用のお願いが。



れる資産にかかる法定耐用年数短縮の要望と、法定耐用年数決定の基となっている日本標準産業分類区分についての改定を要望すべくさらに詳しく調査する。

⑤協会グループ保険(団体定期保険、仮称)設立の件

この後、報告事項として養成研修講座の件/優良店認定の件/全国共通入泉券の件/全国総会(横浜)収支の件/また、この午後一時から全国オーナー研修会が約百名の参加で開催する旨の報告がされた。

報告事項

- 東京でオーナー研修会開催……………2面
- 韓国大型温浴施設視察12月に実施……………4面
- 笑顔あふれる「敬老の日」の慰問……………5面
- 私とサウナPARTII・津村徹氏……………6面

For Beautiful Human Life
Kanebo

アフタータイムを演出する、爽やかなインプレッション

芸術化産業をめざす
Kanebo
FOR PROFESSIONAL

スキッと香って残らない
極微香・残香性ゼロ
新メンズコスメチック

【ヴェクトール】

VECTEUR

全14アイテム 価格2,000~3,000円(税抜)



5品セット(例)



3品セット(例)

「純」と「澄」——
クオリティを追求した
女性用自然派高級化粧品
〈全品・無着色・無香料〉——

Puremase

【ピュアマージュ】
全3タイプ 価格3,000~4,000円(税抜)

第6回・平成9年度
全国オーナー研修会

3氏の講演と情報交換で
事業の活性化策を探る!

〔社〕日本サウナ協会主催の「第六回平成九年度全国サウナ・健康ランドオーナー研修会」が十月八日・九日にかけて、東京で開催され



全国オーナー研修の会場。100名の参加者が広い会場を埋め、順次登壇した3人の講演に耳を傾け、熱心にメモを取る姿も見られた。上の写真は太田氏の講演。この後の、情報交換・質疑応答も、同じ場所で行われた。

た。八日は、(株)東京ドームのプリズムII(文京区後楽1)で、講演、情報交換・質疑応答が行われ、全国各地から集まった会員をはじめ

景気動向と経営のポイント

研修会(八日)は、午後一時から始まり、織茂常務理事が総合司会を務めた。米田会長が主催者を代表し



め賛助会員、非会員の経営者、経営幹部の方たち百名が出席して、熱心に勉強した。翌九日は、新宿アイランドアクアプラザ(新宿区西新宿六)で開催中の『風呂&SAUNA展』を視察した。

第二講は、同四十分から『低迷する日本経済―新サービス産業への展望』のテーマで、東洋経済新報社・週刊東洋経済編集長の太田壽樹氏が講演。景気は低迷を続けており、来年も良くなると思えない。経営マインドとして「景気がわるいから、しょうがない」と思うかどうかで分かれ目が出る。実態面から判断して来年は景気の転換期が来ると思う。気をつけなければいけないが、そこにチャンスがあるなど、景気動向と経営のポイントなどを示された。

新会員紹介(敬称略)

- 次の各店が社団法人日本サウナ協会に加盟されました。よろしくお願ひ致します。
- 本部・賛助会員(平成9年10月7日付)
- ▽会社名 エー・アンド・シー株式会社
- ▽代表者 甲斐千鶴
- ▽取扱業種 火災、救急通報装置の開発・製造・販売
- ▽所在地 東京都港区西新橋3丁目4番1号 MYビル6階
- 電話 03(3431)3119

第三講は、休憩をはさんで三十分から、「弊社の人材育成について」のテーマで、(株)ジャパンニューアルファ代表取締役社長の相川実氏が講演。副主任以上の役職者を従業員に投票できめるユニークな企業で、人材育成も形式にとらわれず、「会社を生かして使ってもらいたい」ともっと自分に素直になれ、自分をごまかす行き方だけはするな」と、従業員の心情に訴えているなど、情熱あふれる話をされた。

アンケート集計結果に基づいて
情報交換・質疑応答

続いて、午後四時から、情報交換・質疑応答に入った。中野常務理事が進行を務め、①過去一年間(九月〜八月)の業績数値の情報交換 ②最近実施してヒットした事業及び年末年始企画の情報交換 ③老人福祉への取り組みについての情報交換について、前もって提出されたアンケート集計の結果に基づいて、情勢の分析、説明、問題提起、質疑応答が活発に行われ、午後五時三十分を終了した。この後、同六時から同ビル内の後楽園飯店で懇親会を行い、愛知県支部・岡崎会長の開会あいさつ、東京ドーム・神田取締役の乾杯の音頭で、歓談と情報交換の幕を開いた。

何か、すぐ役立つ勉強会を期待



いる、そのせいにして自分のところの成績のわるいのを逃がっているのじゃないかと、私自身もいつも反省しております。

(株)日本サウナ協会 会長 米田一也

不景気に左右されるといふのは、もう大きくなり過ぎた大企業の言うことばであって、われわれ中小企業の連中は、不景気ということばで、これに逃げ込んで

ナ業とは何か」ということを、皆で勉強していくために、このように全国から百名のほごご参加を、またまだ協会員でない方もご参加をいただきます、ありが

厚くお礼申し上げます。最後にになりましたが、立派な会場を提供していただき、ありがとうございました。

「風呂」とフィンランドの「サウナ」の歴史と現代までの多様な発展の様子を、「やすらぎ、きよめ、いやし、たのしみ」の四つのテーマにわけて、写真、展示

風呂&SAUNA展を視察

翌九日は、新宿アイランドアクアプラザで開催されている「風呂&SAUNA―沐浴の原点と未来―展」を視察した。日本サウナ協会が後援しており、日本の

お便り
ください

会員各位のコミュニケーションの場として「SAUNA」の紙面をご活用ください。会社の行事や人事異動、レクリエーション、同好会活動など何でも歓迎します。

(株)日本サウナ協会 SAUNA係

『風呂&SAUNA—沐浴の原点と未来—』展を視察



㈱東京ドーム取締役
神田 政登 氏



週刊東洋経済編集長
太田 壽樹 氏



㈱ジャパンニューアルファ
相川 実 氏



会場に入って、すぐ目につくのが、上方(大阪)の江戸時代の銭湯の、石榴口(ざくろぐち、湯船の入り口)の再現。湯のさめるのを防ぐために、湯船の前を板戸で深く覆ってあり、体をかがめてはいる。むかしは、鏡(銅鏡)を磨くのに、ざくろの実でつくられた酢が用いられたので、お風呂へ「かがみ入る」にかけて、石榴口と言われた。

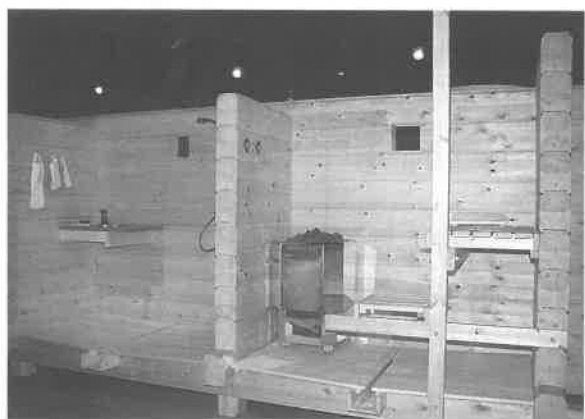


サウナの道具。体をたたくて発汗をうながす
ヴィヒタ(中央)も



フィンランド大統領が視察

オープン前日の9月25日、同会場でレセプションが行われ、フィンランド共和国マルッティ・アハティサ-リ大統領(写真右から2人目)が臨席され、テープカットを行われ、会場を親しく視察された。



木造のサウナ室の実物を断面にして見せたもの



五衛門風呂。胴の横のところに昭和二年丁卯二日とある。



懇親会で情報交流も盛んに



愛知県支部の岡崎会長が開会のあいさつ、東京ドームの神田氏が乾杯の音頭をとり開宴。



特に最近実施してヒットした事業、老人福祉への取り組みについて関心が高かった。

進行を務める中野常務理事

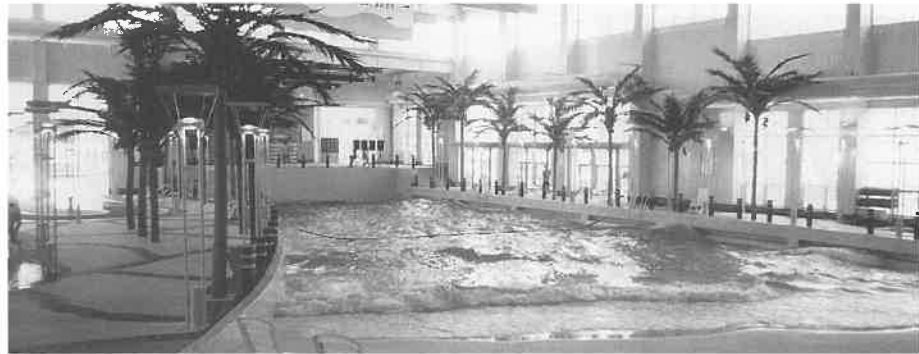


アンケートの結果をまとめた過去一年間の業績数値では「客数」「消費単価」の推移(対前年比)について、都市型サウナ、健康ランド、

カプセルホテルの数値が、また客数の推移では各都道府県ごとの傾向が一目で分かるようにグラフで示された。「最近のヒット商品・企

画・事業」「年末年始企画」は、各店別に実施状況が記載され、今回初めての「老人福祉活動」も同様に記載された。

問題提起・質疑応答が活発に……



写真上は、雪嶽ウオーターピアの造波などレジャー性の高いアイテムを導入した屋内プール。写真下は同施設の全景をのぞむ。コンドミニアムからは、南方から西方にかけて雪嶽山連峰と大奇岩が連なる蔚山岩の雄大な景色が楽しめる。

チェーン網をもつレジャー・リゾート企業である。雪嶽ウオーターピアは、総事業費約五百億ウォン(日本円に換算して約六十五億円)を投じ、工期は十五か月強で竣工させた。敷地面積は約八万平方メートル、建物延べ床面積は基本計画時の二割増しの一万一千平方メートルを超えた。建物は地下二階、地上一階である。温泉を利用した施設は、温泉大浴場と屋内プール、屋外レジャースパと三つの温泉施設形態を複合した大規模でグレードも高い。

韓国最大級の複合温泉施設 「雪嶽(ソラク)ウオーターピア」

韓国最大級の複合温泉施設「雪嶽(ソラク)ウオーターピア」は、韓国有数の観光地にある雪嶽山(ソラク山)国立公園に隣接する総合保養施設「雪嶽ハンファリゾート」内に建設され、今年七月一日にオープンしたばかり。事業主体のハンファ国土開発(成夏鉉代表理事)は、韓国最大のコンドミニアム

韓国温浴施設視察研修会

参加者募集 (12月3日~同6日)
3泊4日の予定

出発は12月3日(水)~帰国同月6日(土)の3泊4日の予定。参加費用は1人10万円内外で検討中。ホテルは2人1室(個室は21,000円追加)。募集人員は15~25名。申込締切りは11月10日(月)。

視察スケジュール(案)

- ▽12月3日(水) ソウル着(現地集合)/竜仁(ヨンイン)エバーランド&カリビアンベイのツアー/世宗(ゼジョン)ホテルまたは同等ホテルクラスにチェックイン
- ▽12月4日(木) 雪嶽(ソクラ)国立公園に移動/到着前に神興寺(シンファンサ)、券金城(グウォングムソン)山頂ツアー/雪嶽ハンファコンドミニアムにチェックイン/雪嶽ウオーターピアで自由行動
- ▽12月5日(金) 洛山寺(ナクサンサ)、緯湯台(ウィサンデ)へのツアー/ソウルに移動/イテウォン、南大門でショッピング/韓国沐浴中央会と交歓/世宗(ゼジョン)ホテルまたは同等クラスのテルに宿泊
- ▽12月6日(土) 空港へ移動、帰国

企画主催 社団法人日本サウナ協会
旅行主催 ハンファトラベル(旅行代理店)

観光立国を掛け声に、近年、韓国では大型リゾート、大型温浴施設の建設が盛んです。そこで社団法人日本サウナ協会では、社団法人韓国沐浴業中央会との交流を図り、今年七月にオープンしたばかりの、韓国最大級の複合温浴施設「雪嶽(ソラク)ウオーターピア」をはじめ、韓国温浴業の近況などを視察するため、十二月初旬に「韓国温浴施設視察研修会」を行います。この機会にぜひご参加ください。

■神奈川県支部・第一線幹部研修会

メインテーマは「新規顧客を 生み出すサービスの研究」

神奈川県支部の「第一線幹部研修会」が、九月十八日に、横浜のサウナ・ニューシヤパンで開催された。第七回目となる今回は、通常七月に開催されているものが、全国総会の主管のため、ずれ込んだもので、十五名が出席した。報告事項は、本部の若林次長より、「全国オーナー研修会」「優良店舗認定」「全国共通入泉券」「福祉への参画」等について説明された。特に十月七日に東京で開催される「全国オーナー研修会」は、神奈川県支部の副

会長である(株)ニューシヤパンニューアルファの相川社長が、講演されるというところで、出来るだけ多数で参加することとなった。研修会は、織茂会長の司会進行で始まった。今回はメインテーマを、「新規顧客を生み出すサービスの研究」とし、本年三月に行った「サウナの日入泉料千円

キャンペーン」「全国献血キャンペーン」の結果報告と、次回への方向性を検討するのと同時に、各店独自のサービスを発表しあった。「入泉料千円キャンペーン」については、サウナ協会の各種広告のほかに各店舗でも広告をしたところが多かったにもかかわらず、広告を見て来店したお客様が、極めて少なかつたうえ、売上げ低下のほかに、回数券のお客様が千円支払っている分や、広告費もあり、効果が以上にダメージが大きかった。という結論となった。また、入泉料値下げのキャンペーンで、安から来たというお客様の

飲食等の消費額が大変少ないし、リピーターとなりにくいという報告もあった。「全国献血キャンペーン」は一万二千四百十六枚が配布され、推定一千五百人が来店された。そのうち六百人程度が「この店には、初めて来た」とアンケートに記載している。売上の低下が表面に現れていないことも含め、次回も積極的に行うこととなった。ただし、招待券の期限を、ゴールデンウィーク前の、四月二十日ごろにしてほしい、という要望が複数あった。第二課題は、恒例の「そこが知りたい!」で、各店舗の過去八か月の営業成績を基に、活発な議論が行われた。都市型サウナの方が、落ち込みは激しいものの、この地域の郊外は、健康ランドの出店ラッシュが見込まれ、どちらも厳しい状況が確認されたなかで、少しでも上向きにするために、盛んに質問がされていた。研修会終了後の懇親会は四社五名の賛助会員を交えて、盛大に行われた。いつも通りの楽しい会となり、このチームワークで、これからの活動も期待できるものと思われた。



国民が払う税金や医療、年金の保険料に対する国民の負担の重さを測る指標。一般的には、租税負担と社会保障費用の合計額を国民所得で割った数字を指す。日本の国民負担率は、経済企画庁の試算によると35.8%(94年度の実績)。今後は、働き盛り世代が減り、仕事を引退して年金などをもらう高齢者の割合が急速に増えるため、上昇が見込めない見通しだ。橋本内閣は「50%を超えず、45%程度にとどめる」との方針を打ち出している。

国民負担率

EC諸国では、スウェーデンが70%、フランスが60%台など日本より大幅に高い国が多い。日本では危機的な財政状況を重視し、関連する各省庁やシンクタンクなどが、さまざまな将来計画を立てている。なかでも通産省は30年後の2025年に年金や医療費など社会保障が赤字になるため、国民負担率は60%まで上昇するという悲観的な推測を立てている。

笑顔あふれる敬老の温もり

老人ホームのお年寄りをご招待



9月22日正午すぎ、大阪ミナミ・道頓堀のニュージャパン観光(株)サウナ店の玄関に、カラフルなトレーナー姿の大勢のトレーナーさんが集まり、大阪市立弘済院養護老人ホーム(吹田市古江台六)のお年寄りたちを、笑顔と拍手で出迎えた。



湯上がり、くつろいで食事をされるお年寄り

「敬老の日」(九月十五日)に合わせ、神戸サウナ&スパ(神戸市中央区下山手通二丁目、(株)ジェムニ米田利勝社長)では、一般のお客様で六十五歳以上の方を無料でご招待。また同店のマッサージトレーナーさんたちが、老人ホームのお年寄りをご招待し、人生の先輩たちをいたわり、健康で長寿をねがった。同店のこうした「敬老福祉の行事」は、阪神大震災からの復興後(今年四月オーブ

ン)はじめてである。まず、六十五歳以上の男性の方を九月十日から同十五日まで入浴(温泉入浴)無料でご招待した。事前に同店の表や店内に、そのことを掲示して広く知ってもらったという。この期間中に多数のお年寄りがお客様として来店され、大浴場でサウナとハンガリアンバス(温泉)などで入浴を楽しみ、湯上がりはレストルームでテレビを見ながら休養し、なかには半日をリラックスして過ごす人もあり、みんな十分に楽しんで帰られた。

一方、九月十一日午前中より、同店のマッサージトレーナーさんたちが、神戸市内の老人ホーム、菊水町の海光園、鶴甲の六甲鶴寿園からお年寄り約五十名を招待、車を手配して来店してもらった。まず、大浴場に案内すると、サウナ風呂やパイプバスなど初めて体験する方が多かったようだが、少し硬くなっていったようだが、やがて、すっかりなじみ、とくに露天風呂の温泉浴がお気に召したようだった。

レストランに案内して食事が済むころから、落ち着いた雰囲気の中で、ニコニコと談話も弾み、ご期待のマッサージは、皆さんに大変喜ばれた。休養の後、皆さんを見送り、車で各老人ホームへお帰りいただいた。同店では「敬老の日」にこだわらず、あらゆる福祉に取り組みべく、皆で協議して、よく相談して、新しい企画に挑戦していきたいと思えます」としている。

右の写真は歓迎の式典。同下は健康サービスを受けながら会話ははずむ。

健康と長寿を願って お年寄りを温泉に「ご招待」

神戸サウナ&スパ(神戸)



「ご奉仕のこぼれ」を読む中尾さん



「敬老の日」の「ご奉仕」 心温まる交流が続いて40年

(株)ニュージャパン観光(大阪)

七階の会議室でさっそく歓迎会が開かれ、まず中野憲一社長が「先日『魂の昭和史』という本を読み、その時代を支えた皆様のことを重ね合わせて思い、ご苦労に敬意を表します。きょうは十分にくつろいでくだ

知っておきたい 名刺のマナー

- ① 外出の際は、必ず名刺を入るポケットに入れること。
 - ② 名刺は胸のポケットに入れること。
 - ③ 初対面の人に尻のポケットから名刺を出されるのは何ともいやなもの。ましてや、シワくちやになっっているなど論外です。
 - ④ きれいな名刺だけを使うこと。
 - ⑤ アカで汚れていたり、角が折れていたりでは不快感を与えてしまいます。
 - ⑥ 名刺の表裏を点検すること。
 - ⑦ 差し出した名刺に、万一メモなどが書き込んであったら、これまた失礼です。渡す前に必ず確認しましょう。
 - ⑧ 受け取った名刺に目の前で書き込みはしないこと。
 - ⑨ やむを得ないときとときに限って、「失礼します」と了解を得たうえで裏面にメモすることは許されます。
 - ⑩ 誤って他人の名刺を出さないこと。
- 笑いの話のようですが、意外とよくあるケースです。常に名刺入れを整理しておいて、他人からももらった名刺は別のところへ入れておく習慣をつけてください。

私とサウナPART II

「カーパチ」がヒント
健康センターの先駆け ①

日新観光株式会社代表取締役会長 津村 徹

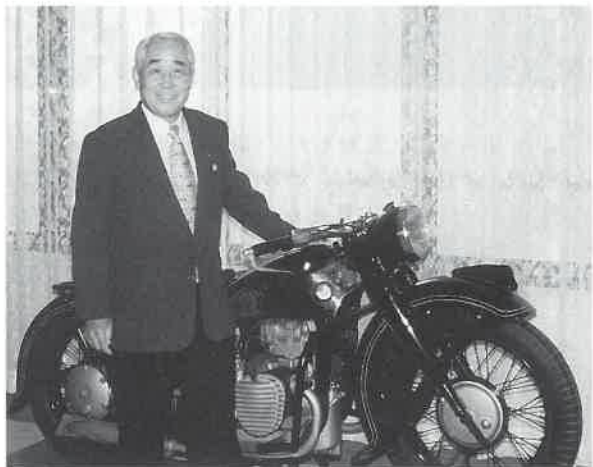
サウナといえば、その発祥はフィンランドですが、風呂ではドイツのクアハウス、ローマのカラカラ風呂など、また、アメリカのクアハウス・ドロンコ風呂などがありますが、日本には温泉が各地にあります。風呂好きの私は、特に温泉浴が好きで、日本の各地を旅し、いろいろな温泉地を回り、種々の入浴体験と発汗に対する風呂の入り方など研究している中に、昭和三十年ころ、京都・八瀬のかま風呂を初めて体験したとき「立派な熱気浴が日本にも古くからあるじゃないか」と思いました。

その当時は、箱型のスチームバスが全盛期でした。これは、一人がスチームの通った木製の箱の中に座り首を外へ出し、スチーム浴する仕組みです。これにはシングル(個室)と、パブリック(大部屋)の二つのコースがありました。トルコ風?蒸し風呂を連想して俗にトルコ風呂と呼ばれていたのもこのころです。そんな時代に期せずして、今のサウナ室に一步近づいた形のを、ホテルや観光旅館の併設大浴場に、先駆けるものを手掛けたことになりました。

汗を流してストレス解消!

日本のサウナは、観光、レジャー的な要素と、健康管理の予防医学的要素を合わせた形で発展してきました。これに対しフィンランドでは二千年の歴史をもつ神聖な場所として、家庭内にサウナをもち、健康管理に役立たせている。また、ヨーロッパのクアハウスでは医学的な面からサウナと温浴を利用し、医者の指示により治療していたという

私どもでは、昭和三十三年(一九五八)から三十四年にかけて温泉開発を手掛け、その一つとして、愛知県海部郡蟹江町を選びました。このあたりは昔から温泉が出そうだといい伝えられており、本当に温泉が湧き出した。そこで料理旅館「太閤閣」にサウナ室を備えた大浴場を併設することとしました。サウナの方はかなり広い部屋の座席の下にヒーターを通し、これに水をかけて蒸気を発生させるもの。水をかけなければ今のサウナと同じ熱気浴でした。それがお客さんには大受けでした。



会長室に飾られた愛車1937年型BMW750ccの前で津村氏。名古屋・三菱重工の技師がドイツから持ち帰ったのを譲り受け26、7歳から乗り回した。製造から60年、手入れがよく行き届いている。「まだまだ走りますよ」とオートバイの話が広がる。

形なので、日本ではちょっと通用しません。

サウナを利用してストレスを解消し、活力を養うために汗を流して...という形がいいわけです。そんなことで、次第にいまのサウナに変わってきた。それと前後して設備業者もいろいろと研究しながら、需要に応じていろいろなものを出してくる。両者が相まって今日まで来ているわけです。

社団法人日本サウナ協会が出来て七年目(平成二年四月設立)ですが、そもそもサウナ業界が飛躍的に発展したのは、昭和三十九年(一九六四)の東京オリンピックの年からだとされています。

当時、東京温泉の先代許斐氏利会長は東京オリンピックの射撃の選手で、フィンランドの選手と交流する中で、選手村に設けられたサウナとの出会いがあったと聞いています。われわれも「サウナ協会」という名称を一番最初に使ったが、

サウナを日本でふやそうと許斐先代が大活躍されて、これが普及して、当時のスチームバスからサウナに乗りかえていったと言えるようです。

その中で、最初に「愛知県サウナ協会」が名乗りをあげたと認識しています。その後、昭和五十年(一九七五)に、東京で全国の各サウナ協会をまとめた任意団体の「日本サウナ協会」が発足したのです。そのときに、ご尽力くださったのが、当時、衆議院議員で厚生大臣をも経験された川崎秀二氏でした。川崎先生は早くから「日本サウナ党」という愛好者の集まりをつくられ、その総裁としてサウナをとっても愛好された方で、当時のサウナ協会発足にご支援を賜ったことを思い出します。

以来、許斐会長(先代)から中野会長(現、名誉会長)、そして米田会長と引き継がれ、各会長はじめ皆さんの努力がベースになっています。

「立体経営」の難しさを痛感

名古屋駅前日新観光ビルの「ニューグランド」は当社の一号店で、開業は東京オリンピック開催の準備たけなわという昭和三十八年(一九六三)ですが、当時はビルの上にお客さん上げる「立体営業」の難しさを痛感したものです。この店も、当初は箱型のスチームバスでした。つぎの金山駅前日新観光ビル「ニューグランド」は、十一年後の昭和四十九年にオープンし

ました。昭和四十年ころ、東京と名古屋で相次いでサウナ店が火災になった。名古屋では逃げ場を失ったお客さんを、換気扇を取り外して、その狭い穴から救出し、その写真がアサヒグラフに大きく載りました。私はこのとき海外にいて、このニュースを聞き、非常に強い衝撃を受けました。

当時は、サウナ室に新聞や雑誌を持ち込み、退屈しのぎに読む人も、この店も

▼十一月九日は「太陽暦採用記念日」。文明開化の明治五年(一八七二)に、旧来から使用してきて、「太陰暦」を廃止して、世界共通の、いまの「太陽暦」が採用された。そしてこの年の十二月三日が明治六年一月一日として実施された。

太陽暦採用記念日

▼当時は月曜、日曜という新しい暦になじめず、農業や生活行事がすっかり根付いていた旧暦は捨てがたく、新暦実施はなかなかかかどらない。明治四十二年に改めて太陽暦の廃止令が出されたほど。

それを黙認していたようです。サウナの熱源がヒーターですと、火災の恐れが多分にあるわけですが、先の火災の原因がそれかどうか、私にはよく分かりません。しかし、安全と衛生は絶対条件で、これを甘く考えてはいけません。

いまは、サウナの熱源も十分に安全性が確保されており、サウナ室にテレビがあるの、新聞など持ち込むお客さんは、まずありませんが、たまにありますと注意してやめていただきます。こうしたサウナでのマナー、サウナの正しい入り方、サウナの効用などは、お客さんにいろいろ体験してもらいながら、こちらも折に触れて指導しながら、今日までやってきたのが実情です。

(つづく)

非日常性の追求

クラフスサウナ

ドイツの温浴施設は「非日常性の追求」が根底にあります。サウナ室やストーブの意匠はもとより、施設的设计コンセプトが夢の温浴施設(スパ)、感動と娯楽性を提供しているように見えます。当社は欧州の代表的サウナメーカー・クラフス社と提携し、夢のライフ・スパを提案致します。



一步先を行くドイツのサウナ。

ガスサウナストーブ

ロツキー

「ロツキー」は本体を岩石で囲い、ストーブの上にも石を乗せてフィンランド伝統のサウナ「リョウリュウ」(心地よい蒸気)を満喫できます。さらに燃料がガスのためランニングコストが電気代の半分で済みます。(特許出願中)



ストーブの上に石を積む本格派。